

# 科目区分：共通基礎科目

授業科目名	教養特別講義						学期	曜日	校時
英語名	Special Lecture for Freshman								
担当 教員名	相川忠臣 有吉範敏 舟越耿一	単位数	2単位	必修 選択	必修	前期	金曜日	2校時	
授業のねらい・内容・方法									
<p>学長、副学長および名誉教授による特別講演により、ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知るとともに、「長崎」「平和」および「海洋と文化」の講義により、学生生活の場である長崎を理解し、平和について理解を深めることによって、学生諸君が探究心と豊かな心を持ち、平和を支え、社会に貢献する人材となることを期待する。</p>									
テキスト、教材等									
<p>長崎：出島の科学 九州大学出版会 生協にて販売。プリントを配布。          海洋と文化：テキストは使用しない。          平和：テキストは使用しない。</p>									
対象学生	成績評価の方法				教員研究室				
D16・K25	<p>長崎：レポートの内容と出席を考慮して評価。          海洋と文化：同上          平和：同上</p>								
授業計画									
<p>第1回 4月15日 特別講演 齋藤 寛 (学 長)</p> <p>第2回 4月22日 長 崎 相川 忠臣 (医 歯 薬)</p> <p>第3回 5月 6日 長 崎 相川 忠臣 (医 歯 薬)</p> <p>第4回 5月13日 長 崎 相川 忠臣 (医 歯 薬)</p> <p>第5回 5月20日 特別講演 岩堀 修明 (名誉教授)</p> <p>第6回 5月27日 特別講演 石原 忠 (名誉教授)</p> <p>第7回 6月 3日 海洋と文化 有吉 範敏 (環 境)</p> <p>第8回 6月10日 海洋と文化 有吉 範敏 (環 境)</p> <p>第9回 6月17日 海洋と文化 有吉 範敏 (環 境)</p> <p>第10回 6月24日 特別講演 松田 芳郎 (名誉教授)</p> <p>第11回 7月 1日 特別講演 山田 毅 (名誉教授)</p> <p>第12回 7月 8日 平 和 舟越 耿一 (教 育)</p> <p>第13回 7月15日 平 和 舟越 耿一 (教 育)</p> <p>第14回 7月22日 平 和 舟越 耿一 (教 育)</p> <p>第15回 7月29日 特別講演 福永 博俊 (理 事)</p>									

## 授業内容

### < 長崎 > 出島の科学：日本と西洋の科学者の出会い

第1回 出島の科学の誕生、通詞、商館長と商館医の活躍

第2回 ツェンペリー、シーボルトとモーニッケの博物学

第3回 組織的に近代科学を導入した海軍伝習

江戸時代長崎に西洋の科学を求めて集った全国の若者が、大海原を越えて来日した西洋の科学者に会い、協力して日本の科学を発展させた。咸臨丸で太平洋無寄港横断を成し遂げた海軍伝習生達のように、諸君も幕末の若人の気概を持って21世紀に船出したJapan号(咸臨丸)の舵をとってほしい。長崎を歩き、先人の足跡を追いレポートを書いて下さい。

### < 海洋と文化 > 三菱重工長崎造船所と長崎のあゆみ

第1回 三菱創業期における造船と長崎 - 岩崎家と近代的造船の始まり -

第2回 明治・大正期の造船と長崎 - 大型客船・軍艦建造と長崎の発展 -

第3回 昭和・平成期の造船と長崎 - 戦争・経済成長・環境の時代 -

### < 平和 >

第1回 「長崎で平和多文化共生を学ぶ」という考え方

第2回 「原爆観の相克」という問題

第3回 「被爆・戦後60年」の時代をどう読むか

各講義担当者へ質問等があるときには、それぞれ以下の連絡先を使用してください。

相川(医歯薬)：金曜日 午後 生理学第一・受付

有吉(環境)：環境科学部研究室

舟越(教育)：教育学部研究室